



日本共産党名古屋市議員 柴田民雄 昭和田市政ニュース

No. 57
[2016/6/5 発行]



発行 日本共産党名古屋市議員団 〒460-8508 名古屋市中区三の丸 3-1-1 名古屋役所東庁舎 3F Tel 052-972-2071
名古屋市議員柴田民雄事務所 〒466-0849 昭和田南分町 3-3 Tel 052-858-3255 Fax 052-858-3256
tamio.jcpweb.net / shibata@tamio.jcpweb.net / @shibata_pin / www.facebook.com/tamio.shibata

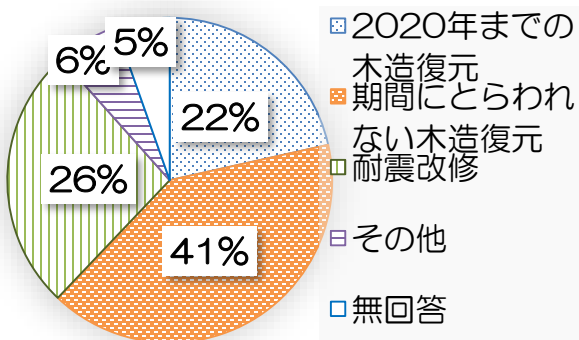
メールマガジンに登録を
mtouroku@tamio.jcpweb.net
に空メールを送信するだけ!



6/1 経済水道委員会 天守閣2万人アンケート 集計結果 発表

6月1日(水)10:30~行われた経済水道委員会で、天守閣木造復元に関する2万人アンケートの集計結果が公表されました。回答者数は7290(回収率36.5%)で、2020年までの木造復元は21.5%、期間にとらわれない木造復元40.6%、耐震改修26.3%という結果になりました。

市民アンケート集計結果



民意は2020年までの木造復元には無いことがはっきりと示されました。6月議会で提出される設計契約の議

案を否決できるよう、さらに世論を高めてゆきましょう。

5/25~26 市議団で 陸前高田市を視察

2011年の東日本大震災で津波による壊滅的な被害を受け、名古屋市が「丸ごと支援」を継続している岩手県陸前高田市。5月25日(水)~26日(木)の二日間、党市議団の江上議員、藤井議員、高橋議員、柴田議員の4人で視察してきました。柴田議員は2012年にコープあいちのボランティアツアーで一度訪問していますが、他の3議員は陸前高田市は初訪問です。

東北新幹線で一ノ関駅へ行き、そこからレンタカー。陸前高田市に入る前に通った海沿いの地域も、いまだ復旧まならぬままの痛々しい風景が広がっています。陸前高田市内は、山を切り崩して平地に11mの高台を造成する大規模な工事が進んでおり、景色は、震災後とは一変していました。15mの津波でほとんどの建物が流された市内でわずかに残った建

物の一つだった旧陸前高田市役所



も、撤去されて高台の地下になっていました。市役所前に置かれていた市民憲章碑は、津波で受けた傷跡もそのままプレハブの仮設市庁舎前に移設されました。

一日目は共産党陸前高田市議3人の一人、藤倉議員の案内で市内を視察しました。昼食をとった仮設店舗は当初5年の期限とされていて、当面3年の延長が認められたものの、その後どうなるかはわからない状態です。

中学校の校庭にびっしりと建てられている仮設住宅からの移転もまだまだで、7割近くの方が、いまだに4畳半+ユニットバス+台所という困難な仮設暮らしを続けます。断熱材は追加されたものの、プレハブのむき出しの鉄骨が冬場の外気の冷たさを直接伝えてしまうため、カーテンや毛布で覆うなど工夫しています。玄関を開けると直接室内に冷たい外気が流れ込んでしまうため、要求がやっと実現して風除室を取り付けてもらえたとのことでした。

また、新築の市営住宅に移転するにも、エアコン設置など

お読みください
本日がわかる 明日がみえる
日本共産党の
しんぶん 赤旗
●毎日配達の日刊紙 月 3,497円
●毎週配達の日曜版 月 823円
お申し込みは柴田民雄事務所まで



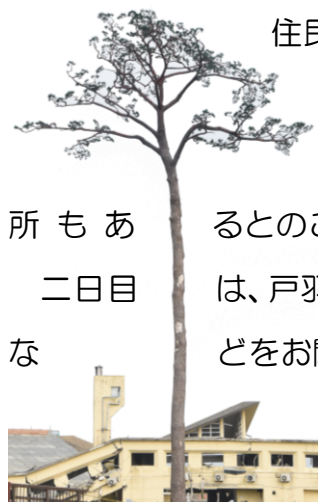


前頁の高台造成の土を切り出すために山を一つ削って高台にした今泉地区から、市内を眺めているところ。中央の橋は土を運んだベルトコンベヤー跡。

の自己負担も大きく、仮設を出たくても出られないケースも。中学校は、仮設住宅で校庭が使えないため、田んぼを埋め立てるなどして仮設の校庭を作って授業を行っています。

また、山を削って宅地を造成し、一人100坪の割り当てで防災集団移転を進めています。かさ上げ造成を進めている街の中心部にもっと広い土地を持っていた人も100坪の割り当てしかできず、土地の権利関係が複雑になっているとのことでした。

またかさ上げ造成するにあたって、被災した建物は撤去しなければならないのですが、どうしてもそれに同意できない



所もあ
二日目
な

住民もみえて、そこだけはすり鉢状に残して擁壁を作り、11m低いところに被災の記憶を伝える遺構を残している場所もあるとのこと。

は、戸羽太陸前高田市長と面談し、復興の苦労などをお聞きしました。そのあと、名古屋市からの派遣職員鈴木さんの案内で、市南西部の、かなり高い山を丸ごと削って、膨大な量の土をベルトコンベヤーを使って市内に運び、削った後の高台にも新しい街を作っているという今泉地区を訪れました。

旧 JR 大船渡線(ドラゴンレール)を再開させて陸前高田駅を中心に街の再構築をしてゆ

きたいと、市民の合意がやっと固まったのに、肝心の JR 東日本が再開を拒否しているのも問題です。確かに赤字路線ですが、復旧・復興のなかで、鉄道路線が果たす役割は非常に大きく、被災前よりもむしろ利用者は増えることが予想されるとのこと。

JR 東海は、分割民営化でバラバラにされていることを理由にせず、もうけをリニアより被災地の復興のためにこそ使うべきです。

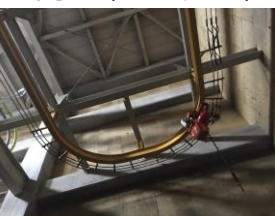
不足する稽古場対策に活用できないか旧山田工場を視察

5月27日(金)西区にある環境局の旧山田工場(ごみ焼却工場)跡を、柴田議員、さはし議員、西山議員、青木議員の市議団4人で視察しました。山田工場は1985年から約20年間稼働し、ごみ量の減少などの理由で2004年に閉鎖。その



後跡地の利用目的が決まらないまま、建物がそのまま残されています。現在はリサイクル資源の集積場や、使命を終えたごみ収集車の売却までの仮置き場などの目的に使用されていますが、頑丈な建物はほとんどが利用されていません。

植栽や壁画など、市民に愛されるような意匠を凝らした外観の建物の中に入ると、パイプやタンク、鉄の階段などが縦横にめぐらされた廃墟になっています。ごみの投入ステージなど、非常に広い空間や、管理棟にはそのまま活用できそうな部屋などもあり、旧給水塔を改装して演劇練習館「アクテノン」を作ったように、この建物を有効活用する方法は無いかと、アイディアを集めてゆきたいと思いました。



(コラム「上を向いて歩こう」はお休みします)

市議員柴田民雄活動日誌

- 26(木): 陸前高田市視察
- 27(金): 定例朝宣伝[八事日赤駅], 環境局旧山田工場視察, 公選法学習会
- 28(土): 小学校運動会[松栄][広路][川原][御器所][村雲][鶴舞][吹上], 生活相談
- 29(日): 昭和区総合防水訓練, 区政協力委員長公職者意見交換会, 民商瑞穂支部総会
- 30(月): 金山駅早朝宣伝, 本丸御殿2期工事公開記念式典
- 31(火): 定例朝宣伝[いりな駅], 事務所看板取り付け, 公選法学習会, 戦争法学習会

無料法律相談のご案内

柴田民雄事務所にて、協力弁護士と初回無料で法律相談ができます【予約制・30分】

- 第2金曜日: 午後2時~4時
- 第4火曜日: 午後6時~8時

生活相談は随時受付中です

6月10日(金)午後2時~4時
6月28日(火)午後6時~8時
7月8日(金)午後2時~4時
7月26日(火)午後6時~8時
予約電話: 052-858-3255

柴田民雄事務所 昭和区南分町3-3 tel 052-858-3255
御器所駅から徒歩11分・川名駅から徒歩11分
(事務所の駐車場はありませんが、東隣に名鉄協商コインパーキングがあります)